

報道の記録

20年育樹祭 道内開催を

道は9日、2020年の第44回全国育樹祭が道内で開かれることに決定したと発表した。道内での育樹祭開催は1987年以来、2回目。道は同日設置した山谷吉宏副知事をトップとする庁内連絡会議で、開催日時や式典会場などについて検討していく。

全国育樹祭は、天皇、皇后両陛下が全国植樹祭で植えられた樹木を皇族方が手入れされたり、参加者が育樹活動を行ったりする行事。全国植樹祭は2007年に苫小牧市で開催された。

平成29年(2017年)8月10日 読売新聞

20年育樹祭 道内開催を

道は6日の道議会水産林務委員会、皇室や全国の林業関係者が集う「全国育樹祭」の2020年秋の道内開催を、主催者の国土绿化推進機構(東京)に申請したと発表した。道内開催が実現すれば1987年以来33年ぶりの2度目となる。

道は昨夏に機構から開催を打診されており、5月30日に申請した。8月の機構理事会で決定する見通し。

全国育樹祭は、天皇、皇后両陛下が全国植樹祭で植えた樹木を皇太子ご夫妻が手入れする行事で、全国植樹祭を開催した都道府県と同機構が実施する。道内では2007年に苫小牧で第58回全国植樹祭が開かれ、天皇、皇后両陛下がアカエゾマツの苗などを植えた。

育樹祭と同じく20年に開かれる東京五輪・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場に国産木材の活用が見込まれるため、道は同年を木のぬくもりなど木材の良さが広く認識される年ととらえている。育樹祭でも、会場内の案内板に北海道の樹木を使用するなどして、5千人規模が見込まれる多くの来場者に道産木材をPRし、利用拡大につなげたい考えだ。

平成29年(2017年)6月7日 北海道新聞

全国育樹祭 テーマ発表

札幌で実行委初総会

【札幌】2020年秋に札幌市と苫小牧市で行われる第44回全国育樹祭の北海道実行委員会第1回総会が20日、札幌市内で開かれ、テーマ「つなごう未来へこの木 この森 この緑」を聞いた苫小牧市字静川の苦東・和みの森で行われる。

総会では全国から公募した大会テーマ「ポスターホルマーク」が発表され、高樹祭基本計画の案案などを承認。実行委副会長の辻義弘副知事は「道は木育発祥の地であり全国に広がるよう取り組む。道の魅力発信を含めて全力で準備を進めると述べた。(有田太一郎)

「原画が発表された。全国育樹祭は全国規模の緑化行事として毎年秋に国土绿化推進機構と都道府県との共催で開催されている。道内開催は1987年昭和(昭和)以来33年ぶりの2回目。式典は札幌市豊区道の道立総合体育センター・北海道庁庁舎、皇族が出席する手入れは2007年(平成19年)に全国植樹祭とシンボルマーク、ポスターホルマーク、ポスター原画が発表された。実行委副会長の辻義弘副知事は「道は木育発祥の地であり全国に広がるよう取り組む。道の魅力発信を含めて全力で準備を進めると述べた。(有田太一郎)

平成30年(2018年)12月21日 室蘭民報

全国育樹祭 道実行委 基本計画案を承認

苫小牧で機械展示実演会

2020年秋に苫小牧、札幌市で開催される「第44回全国育樹祭」の北海道実行委員会(会長・鈴木直道知事)は18日、札幌市内第2回総会を開き、基本計画案を承認した。お手入れ会場となる苫小牧市では、新たな記念行事として「森林・林業・環境機械展示実演会(式典当日)」が開かれることも決まった。

今後、高内庁などの協賛を経て、育樹祭の開催日程は今年1月頃に決定、公表される。

開催日程 来年1月決定

全国育樹祭の本道開催は、もある北海道のさまざまな特産品を展示する。07年7月、全道・苫小牧、札幌市で開催。以来、33年ぶり2度目。札幌市豊区に北海道庁が主催する。07年、07年に全国植樹祭となった苫小牧市静川の「三東・和みの森」がお手入れ会場になる。官民連携組織の実行委は昨年6月に設立され、三つの専門委員会を設置して準備作業を進めている。

昨年12月に続く2回目の総会には、委員らが出席。鈴木直道知事は「全国育樹祭開催までの1年間、木育発祥の地で色を生かしたイベントを道各地で実施し、育樹祭開催年に天皇、皇后両陛下が手植えされたアカエゾマツなどの樹木を、皇族陛下が手入れされたり、皇族陛下が手入れされる。お手入れ会場については、道の道路や駐車場を利用する。周辺の観光や環境に配慮することを確認した。この他、記念行事として、前日、行事参加者は約1000人。参議院議員や水産庁、道と林業関係者が主催する。森林・林業・環境機械展示実演会(苫小牧市)は、道に比較的近い。苫小牧市で機械化を進めることと決定。機械化による林業労働の省力化と生産性向上への理解を深めるが狙いで、全国の林業機械メーカーの最新機械の展示・実演が行われる。開催日は式典当日を翌日の2日間で、約5000人の参加を見込んでいる。

「全国育樹祭の開催機運を盛り上げた」とあいさつした鈴木直道知事

令和元年(2019年)6月19日 苫小牧民報

枝打ち、間伐…森林身近に 苫小牧で育樹祭1年前イベント



ノコギリを使って間伐を行う参加者

新型コロナウイルス感染拡大の影響で来年度に延期された第44回全国育樹祭（国土緑化推進機構が主催）の開催1年前記念イベントが、育樹祭の発祥となる苫小牧市静川の「五東・和みの森」で開かれた。市民ら約40人が枝打ちなどの体験を通じて、森林保の大切さを学んだ。

この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。

この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。

令和2年(2020年)10月14日 北海道新聞

■札幌で全国育樹祭1年前記念イベント

道や国土緑化推進機構は9日、全国育樹祭開催1年前の記念イベントを道庁赤れんが庁舎前庭で開いた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため育樹祭は1年延期され、来年10月に苫小牧と札幌で行われる。

記念イベントには主催者やミス日本みどりの女神の井戸川百花さんらが参加。前庭のハ



マナスとコウヤマキに肥料をまき、全国育樹祭までの日数を示すカウントダウンボードの除幕を行った一写真。土屋俊亮副知事は「1年後の成功に向けて今日から機運を盛り上げたい」と話した。

記念イベントは10日にも開かれ、井戸川さんが育樹祭会場で間伐などを行う。記念イベントの様子は12日に道のYouTubeチャンネルで配信される。

令和2年(2020年)10月10日 北海道新聞

■森林づくり語り合っ
樹木とのふれあいや学びなどを推進する「木育」をテーマにした2019「国民参加の森林づくり」(NPO)シンポジウム(北海道)が、国土緑化推進機構(北海道)主催の「森林の未来」(朝日新聞社、森林文化協会)主催の19日、札幌市北の北海道大学で開かれた。来秋に「第44回全国育樹祭」が道内で開かれるのに向け、記念講演した。タレント、構成作家の鈴木貴之さん、生まれ故郷の北海道赤平市で、8年前に購入した原野を切り開いて住居にした体験を披露した。「若い世代はアウトドアが好きな世代だ」と話した自分が、森には本来の癒やしがあることを知り、人や自然

令和元年(2019年)10月13日 朝日新聞



1年前キックオフイベント開催 「木育」テーマ札幌でシンポ 来秋の全国育樹祭に向け

国土緑化推進機構(国)が、10の道庁、苫小牧市、緑化推進機構(道)などで開催されることを記念して、10月10日、札幌市で「1年前キックオフイベント」を開催した。この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。

令和元年(2019年)10月14日 苫小牧民報

全国育樹祭へ緑のマスク

白老アイヌ協会など 実行委に寄贈



中村農と手作りのマスクを準備した井
会長(左)と山丸理事長(中)が、協賛する白老アイヌ協会は、北海道実行委員会に手作りのマスク30枚を贈った。マスクは同市の育樹祭会場、五東・和みの森の維持管理に当たる団体に配られる。同協議会が8月末、マスク製作を白老アイヌ協会に委託し、同協会の員10人が、森を少し離れた緑の生地に、無病災の願いを込めたアイヌ文様の刺しゅうを施したマスクを作った。

苫小牧市の胆振総合振興局林室で10月20日開かれた授取式で、同協議会代表の山丸理事長が、協賛する白老アイヌ協会から、長は「マスクが役立つことを願っている」と話した。マスクは同協会が引き継ぎ製作し、10月以降、一般向けに販売予定。問い合わせは同協会0114-84・5100へ。(中沢大夢)

令和3年(2021年)10月2日 北海道新聞

育樹祭準備大詰め



親子ら50人が汗
来月9日に開幕
苫東・和みの森運営協

約50人が参加し、育樹祭で用いられる様々な道具を準備した。この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。この日は、育樹祭のPRを務める三日本みどりの会が主催した。

令和3年(2021年)9月27日 苫小牧民報

育樹祭道産材でお出迎え

札幌の専門学生ポスター制作

北海道札幌市東区、10月6日、札幌市立小中学校（札幌市東区）の学生、牧田君、10日に行われる育樹祭のウェルカムボードを制作する北海道芸術デザイン専門学校学生の姿が写っている。

令和3年(2021年)10月7日 北海道新聞

和みの森で「お手入れ」

苫小牧と札幌で全国育樹祭

和みの森の緑化活動について秋篠宮ご夫妻にモニター越しに説明する子どもたち。写真左は鈴木直道知事

秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。

令和3年(2021年)10月11日 苫小牧民報

育樹祭道内34年ぶり

秋篠宮ご夫妻オンライン参加

北海道は過去34年ぶり、秋篠宮ご夫妻が、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。

令和3年(2021年)10月10日 北海道新聞

■秋篠宮ご夫妻、全国育樹祭に出席

秋篠宮ご夫妻は9日、北海道苫小牧市と札幌市で開かれた第44回全国育樹祭に赤坂御用地（東京都港区）の宮邸からオンラインで出席された。2007年の全国植樹祭で上皇ご夫妻が植えた樹木を枝打ちする様子などを視聴した＝写真・宮内庁提供。

育樹祭は毎年開催されているが、新型コロナウイルス禍で開催が1年延期された。今回は現地訪問は見送りとなった。秋篠宮ご夫妻は「全国緑の少年団」の小中学生と交流、画面越しに「間伐材はどのように利用されているのですか」などと質問を重ねていた。

令和3年(2021年)10月10日 毎日新聞

苫小牧 全国育樹祭で関係者

森づくりへ決意新た

秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。

令和3年(2021年)10月10日 北海道新聞

苗木すくすく

育樹祭始まる

第44回全国育樹祭が9日、苫小牧市の苫小牧・和みの森で始まった。「お手入れ」の森づくり活動をする「森のふくみ」が中心となり、秋篠宮ご夫妻にモニター越しに説明する子どもたち。写真は、秋篠宮ご夫妻が、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。

令和3年(2021年)10月10日 朝日新聞

秋篠宮ご夫妻育樹祭で交流

秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。

令和3年(2021年)10月10日 読売新聞

苫小牧と札幌で全国育樹祭開催

秋篠宮ご夫妻とオンライン交流

秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。秋篠宮ご夫妻は、令和3年10月10日、北海道札幌市東区にある「和みの森」で、全国育樹祭を開催された。

令和3年(2021年)10月10日 毎日新聞

木育の輪 広げたい 札幌 全国育樹祭が閉幕

札幌 全国育樹祭が閉幕

第44回全国育樹祭 道内緑化推進機構主催（10月10日、札幌市豊平区の道立総合体育センター）（北海道）

今年で記念典を閉幕、2004年が始まった道内緑化推進機構主催の「全国育樹祭」が10月10日、札幌市豊平区の道立総合体育センター（北海道）で閉幕した。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、道内各地から参加した約100人の参加者が、秋篠宮さまや道外自治体関係者の約300人がオンラインで参加した。鈴木直道知事は「森や木づくみ、豊かな心育は木育の輪を広げたい」と述べ、北海道から全国の子どもたちに大きな広がりを感じてほしいと述べた。

秋篠宮さまは、道内各地の森の美しい映像を通じて、森を大切にし、木育の輪を広げたいと述べた。

秋篠宮さまは、道内各地の森の美しい映像を通じて、森を大切にし、木育の輪を広げたいと述べた。

令和3年(2021年)10月11日 北海道新聞

吉小牧で林業機械展

全国から3000人來場

遠隔操作の伐倒機「ブローダ」
コンテナ苗移植機や運搬ドローン

北海道で林業機械展が開かれ、全国から3000人以上が来場した。会場には、遠隔操作の伐倒機「ブローダ」や、コンテナ苗移植機、運搬ドローンなどが展示された。

ブローダは、遠隔操作で伐倒作業ができる。コンテナ苗移植機は、コンテナに苗を移植できる。運搬ドローンは、苗や資材を運搬できる。

令和3年(2021年)10月21日 民有林新聞

全国育樹祭併催「育林交流集会」 変わる天気と異常気象

森の炭素吸収
木材利用に期待

秋篠宮さまは、異常気象による森林被害の深刻さを指摘し、森林の炭素吸収能力を高めることが気候変動対策に重要であると述べた。

また、木材の持続可能な供給と木材利用の促進が、森林の健全な成長を支えることにつながると述べた。

会場には、森林の炭素吸収能力を高めるための取り組みや、木材の持続可能な供給と木材利用の促進に関する取り組みが紹介された。

令和3年(2021年)10月21日 民有林新聞

秋篠宮ご夫妻 育樹祭式典視聴

秋篠宮ご夫妻は、札幌市で行われた第44回全国育樹祭の式典をオンラインで視聴された。

秋篠宮さまは、式典に寄せたビデオメッセージで、「北海道で100年先を見据えた森林づくりが、道民との協働により進められていることは、大きな意義を感じます」と述べた。

また、「ご夫妻は9日にも育樹祭の関連行事にオンラインで出席し、緑化活動に貢献した関係者らと交流された」と述べた。

令和3年(2021年)10月11日 読売新聞

野幌小の森林少年団(別)の紹介もあり、優勝少年団の小島村少年団(札幌)が選ばれた。

また、優勝少年団の小島村少年団(札幌)が選ばれた。

全国緑の少年団発表大会

ながめま緑の少年団など5団体
北海道で開催された第27回発表大会

北海道で開催された第27回発表大会。優勝したのは、ながめま緑の少年団、みどり緑の少年団、あまの緑の少年団、あまの緑の少年団、あまの緑の少年団。

大会では、各団体の発表や、表彰式が行われた。

令和3年(2021年)11月18日 民有林新聞

食と地域の活力

商品開発 企業の依頼続々

秋篠宮さまは、食と地域の活力を高めることが重要であると述べた。

また、食と地域の活力を高めるための取り組みや、商品開発の促進に関する取り組みが紹介された。

令和4年(2022年)2月2日 北海道新聞

第44回全国育樹祭

吉小牧、札幌で34年ぶり

秋篠宮ご夫妻 オンラインで臨席
緑豊かな森林を未来へ

第44回全国育樹祭が札幌市豊平区の道立総合体育センターで開催された。秋篠宮ご夫妻はオンラインで臨席された。

また、「緑豊かな森林を未来へ」というテーマで、森林の健全な成長と木材利用の促進に関する取り組みが紹介された。

令和3年(2021年)10月14日 民有林新聞

第44回全国育樹祭

木育で未来へつなぐ緑の森

秋篠宮ご夫妻は、木育の重要性を述べた。

また、「木育で未来へつなぐ緑の森」というテーマで、木育の重要性と木材利用の促進に関する取り組みが紹介された。

令和3年(2021年)10月14日 民有林新聞